



東北SDGs未来都市サミットの 結果について



報告事項 2024/8/22
政策開発部政策開発課

8月9日（金）、10日（土）の2日間に渡り開催された、東北SDGs未来都市首長会議及びサミット等の結果については下記のとおりです。（未来都市選定：東北地方で16市町）

1 首長会議

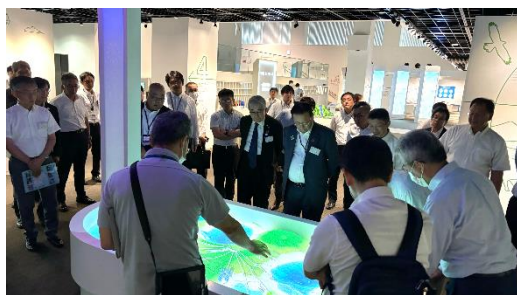
- 【日時】 令和6（2024）年8月9日（金曜日）
13:30～15:00
- 【会場】 市民プラザ 大会議室
- 【参加自治体】 12市町（ワザバ参加：広域圏4市町）
- 【内容】 各自治体からSDGsの目標達成に向けた取組について説明が行われました。
また、翌日のサミットにおいて発表する共同宣言について事務局から案を示し協議しました。その結果、事務局案のとおり決定しました。

2 視察

- 【日時】 令和6（2024）年8月9日（金曜日）
15:30～16:50
- 【会場】 福島県環境創造センター交流棟（コミタふくしま）
- 【参加自治体】 11市町（30名）
- 【内容】 センター所長及び職員から、原発事故の現状や本県の環境の取組などについて説明を受けました。



（首長会議）



（視察）

3 未来都市サミット

- 【開催日】 令和6（2024）年8月10日（土曜日）

○基調講演

- 【時間】 9:30～10:35
- 【会場】 ビッグパレットふくしま コンベンションホールA
- 【講師】 川廷 昌弘氏
（慶応義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ アドバイザー）
- 【演題】 「SDGsで自分を変える、未来が変わる」
- 【参加者】 約150名（オンライン参加を含む）

○パネルディスカッション

- 【時間】 10:45～11:50
- 【会場】 ビッグパレットふくしま 多目的ホール
（ふくしまSDGs未来博メインステージ）
- 【パネリスト】 東松島市長 渥美 巖
米沢市長 近藤 洋介
郡山市長 品川 万里
- 【コーディネーター】 川廷 昌弘氏
- 【テーマ】 「次の100年に向けたウェルビーイングなまちづくり」

○サミット共同宣言

- 【時間】 11:50～12:00
- 【宣言文】 別紙のとおり



（サミット共同宣言）

共同宣言文

私たち、SDG s 未来都市として選定された東北地方の 16 都市は、SDG s の達成に向けた強い意志を共有し、「誰一人取り残されない」SDG s の基本理念を広く普及するとともに、バックキャストとフィードフォワードの思考により、地域課題を先導的に解決し、東北から全国及び世界にその成果を発信していきます。

また、東北地方の豊かな自然環境を守りつつ、持続可能な経済発展と社会的包摂を促進するため、GX（グリーン・トランスフォーメーション）及びDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じることができる「ウェルビーイング（well-being）なまち」の実現に向け、緊密に連携することをここに宣言します。

1. 私たちは、気候変動対策をはじめとした持続可能な社会の実現に向け、自治体間で情報を共有し、SDG s 達成のための行動をさらに加速していきます。
2. 私たちは、SDG s の理念を深く理解し、浸透・実現に努め、多様なステークホルダーとのパートナーシップで課題解決を図ります。
3. 私たちは、SDG s を羅針盤として、地域社会の多様性と調和及び経済・社会・環境の統合的な成長を目指し、将来の世代に誇るべきまちを継承します。

令和6（2024）年8月10日

青森県弘前市長	櫻田 宏
岩手県一関市長	佐藤 善仁
岩手県陸前高田市長	佐々木 拓
岩手県岩手町長	佐々木 光司
宮城県仙台市長	郡 和子
宮城県石巻市長	齋藤 正美
宮城県東松島市長	渥美 巖
宮城県大崎市長	伊藤 康志
秋田県大仙市長	老松 博行
秋田県仙北市長	田口 知明
山形県米沢市長	近藤 洋介
山形県鶴岡市長	皆川 治
山形県長井市長	内谷 重治
山形県飯豊町長	後藤 幸平
福島県福島市長	木幡 浩
福島県郡山市長	品川 萬里